



自動運転車両の目に： ポッシュが新しいカメラ技術でパートナーと協力 ソニーセミコンダクタソリューションズと技術提携で合意

2017年5月29日

PI CC joe/Sekr

- ▶ ポッシュとソニーセミコンダクタソリューションズの協業により、照度条件が厳しい環境でもカメラを使って周囲をより速やかに検知することが可能に
- ▶ 画像センシング技術と自動車関連技術のノウハウがドライバー アシスタンス システムや自動運转向けの画期的な新しいカメラにつながる見込み

シュトゥットガルト・天気が良く、太陽が低い位置にあると、運転中に非常にまぶしく感じ、視界が制限されてしまうことがあります。また、よく晴れた日に、運転している車がトンネルから出る際、まぶしい光を遮るためにサンバイザーが必要になることもよくあります。明るさが十分でない場所から出る時や、外の明るさが急に変わる時に、人間の目はその変化にすぐに対応しきれませんが、ドライバー アシスタンス システムや自動運転に必要なカメラの場合もそれは同じです。こうしたセンサーの問題点を改善するために、ポッシュとソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社はこのたび、技術提携することに合意しました。両社は今後、照度条件が厳しい環境でも、車両の周囲を確実に検知できる最先端の画期的なカメラ技術の開発を目指すこととなります。「世界屈指の自動車部品サプライヤーであるポッシュとイメージセンサーのマーケットリーダーであるソニーセミコンダクタソリューションズは、互いの技術ノウハウを持ち寄ります」と、ポッシュのシャシーシステム コントロール事業部長を務めるゲルハルト・シュタイガーは説明します。

照度条件が厳しい環境でも視界が向上

レーダーセンサーや超音波センサーとともに、カメラは、現代の自動車にとって感覚器官に相当します。歩行者に対応した自動緊急ブレーキシステム、車線維持支援システム、標識認識システムなどのドライバー アシスタンス システムのためには、こうしたカメラが今日の車両モデルにはますます不可欠な存在となってきました。カメラの利点は、物体を検知し、その生成された画像が非常に膨大な量の情報を持つという点です。自動車業界のリーディングサプライヤーであるポッシュは長年にわたり、360°のサラウンドビューを可能にする単眼カメラ/ステレオビデオカメラの生産に携わってまいりました。カメラは今後、自動運転のセンサーコンセプトを実現する重要なコンポーネントとなっていきます。暗い場所から明るい場所に出る場合やその逆の場合など、照度

が急に変化する時でも確実に作動するカメラの存在が欠かせず、検知範囲内で明るさが大きく異なる場所がある場合にも、瞬間的にその相違を感知できる必要があります。「自動運転車両が路上での安全を確保するには、周囲をいつでも速やかに検知できることが不可欠です。」(シュタイガー)

報道関係対応窓口:

Jörn Ebberg

電話: +49 711 811-26223

世界のボッシュ・グループ概要

モビリティソリューションズは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2015年の売上高は439億ユーロで、総売上高の60%を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティソリューションズは、自動化、電動化、ネットワーク化の3つの領域においてグループの専門知識を統合させ、お客様にトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー／パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバーアシスタンスシステム／自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントやVehicle-to-Vehicle(車車間)およびVehicle-to-Infrastructure(路車間)通信、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト／テクノロジー／サービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置ESC(エレクトロニックスタビリティコントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2016年の従業員数は約39万人(2016年12月31日現在)、売上高は731億ユーロを計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社450社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界120の拠点で約5万9,000人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ(1861~1942年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の92%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト(英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス(英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター(ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト(日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター(日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック(日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式YouTube(日本語)